

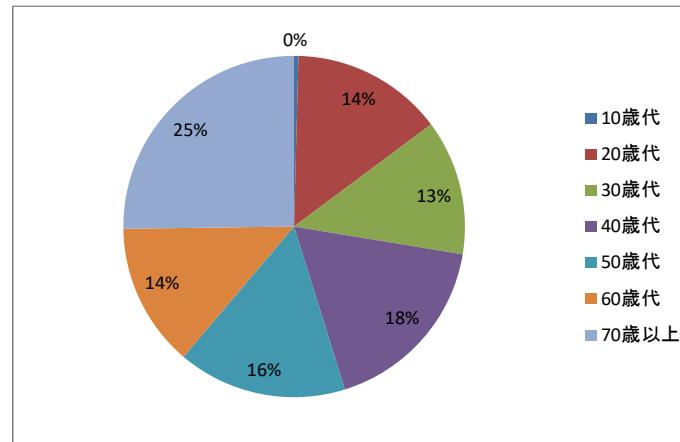
第15回 男女共同参画に関する意識についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和7年1月10日～令和7年1月23日

【アンケートの目的】 金沢市男女共同参画推進行動計画「かなざわ未来 奏でプラン2023」の進捗状況を把握するため

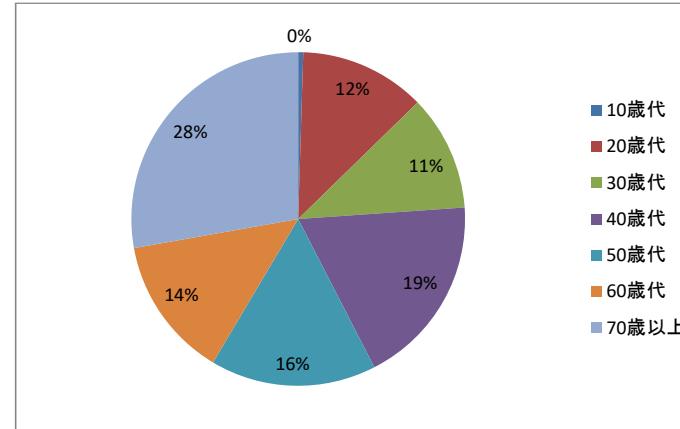
【対象者数】 250名

内訳	人数	%
10歳代	1	0.4
20歳代	36	14.4
30歳代	32	12.8
40歳代	44	17.6
50歳代	40	16.0
60歳代	34	13.6
70歳以上	63	25.2
計	250	100.0



【回答者数】 205名

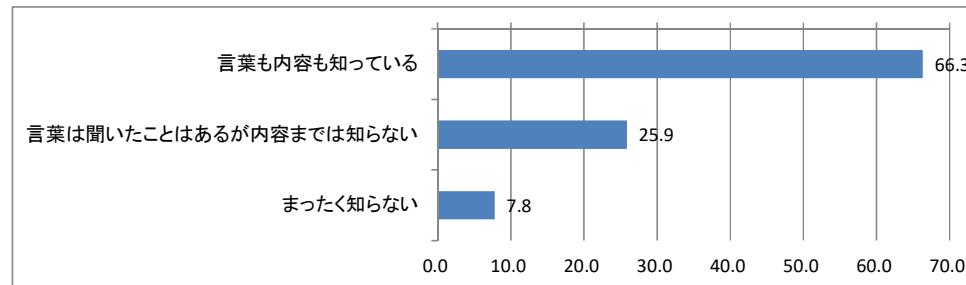
内訳	人数	%
10歳代	1	0.5
20歳代	25	12.2
30歳代	23	11.2
40歳代	38	18.5
50歳代	33	16.1
60歳代	28	13.7
70歳以上	57	27.8
計	205	100.0



【回答率】 82.0%

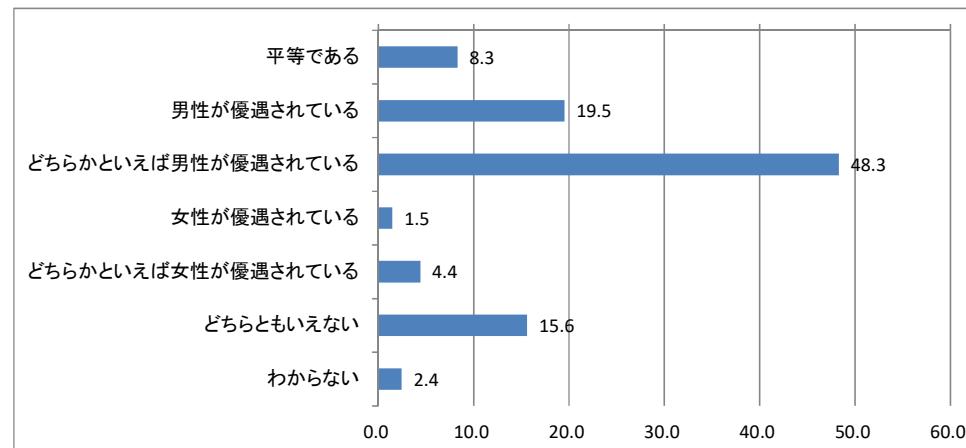
問1 「男女共同参画社会」という言葉は知っていますか。

回答	人数	%
言葉も内容も知っている	136	66.3
言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない	53	25.9
まったく知らない	16	7.8



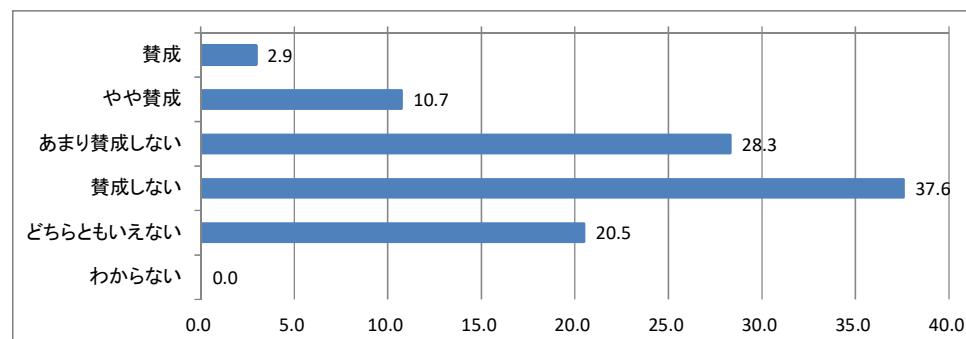
問2 現在の日本において、社会全体で男女の地位は平等になっていると思いますか。

回答	人数	%
平等である	17	8.3
男性が優遇されている	40	19.5
どちらかといえば男性が優遇されている	99	48.3
女性が優遇されている	3	1.5
どちらかといえば女性が優遇されている	9	4.4
どちらともいえない	32	15.6
わからない	5	2.4



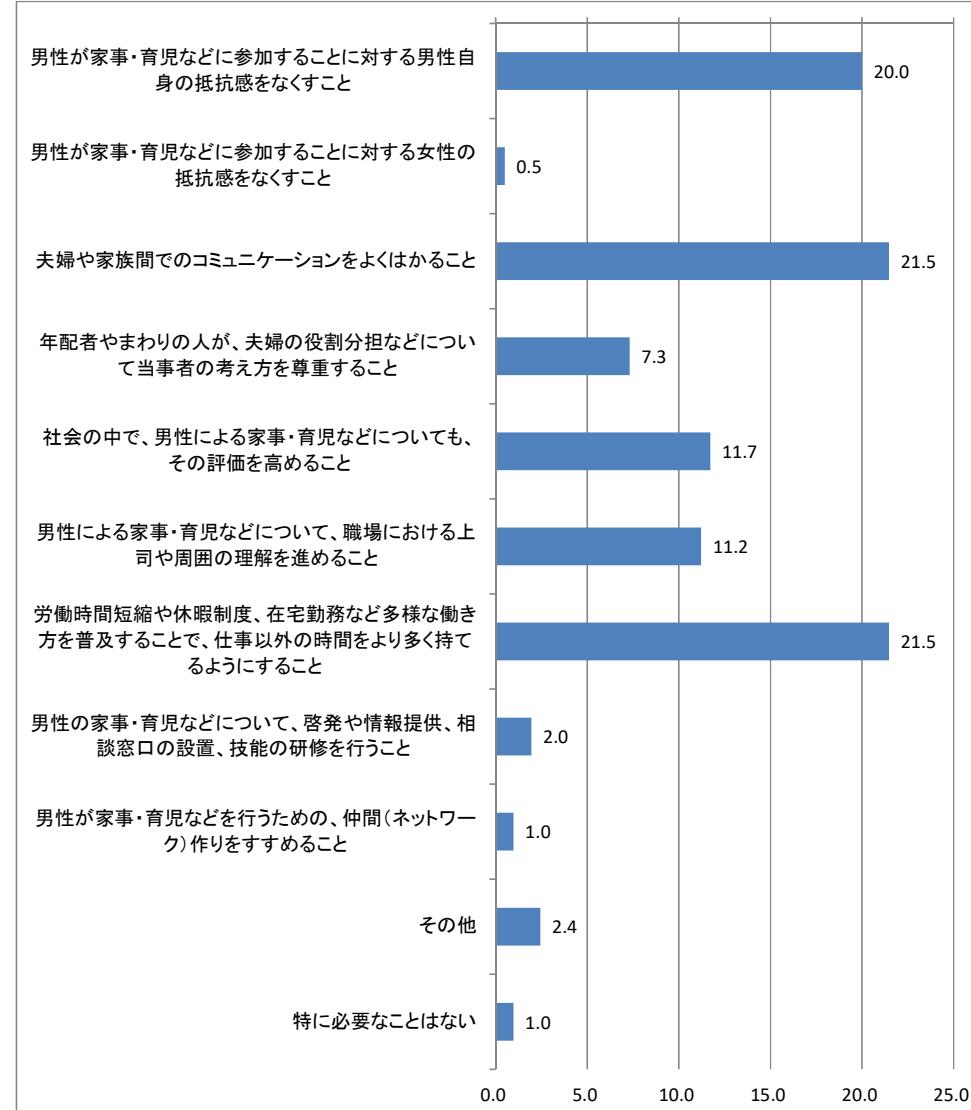
問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

回答	人数	%
賛成	6	2.9
やや賛成	22	10.7
あまり賛成しない	58	28.3
賛成しない	77	37.6
どちらともいえない	42	20.5
わからない	0	0.0



問4 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

回答	人数	%
男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	41	20.0
男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	1	0.5
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	44	21.5
年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重すること	15	7.3
社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	24	11.7
男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	23	11.2
労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務など多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	44	21.5
男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	4	2.0
男性が家事・育児などをを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること	2	1.0
その他	5	2.4
特に必要なことはない	2	1.0

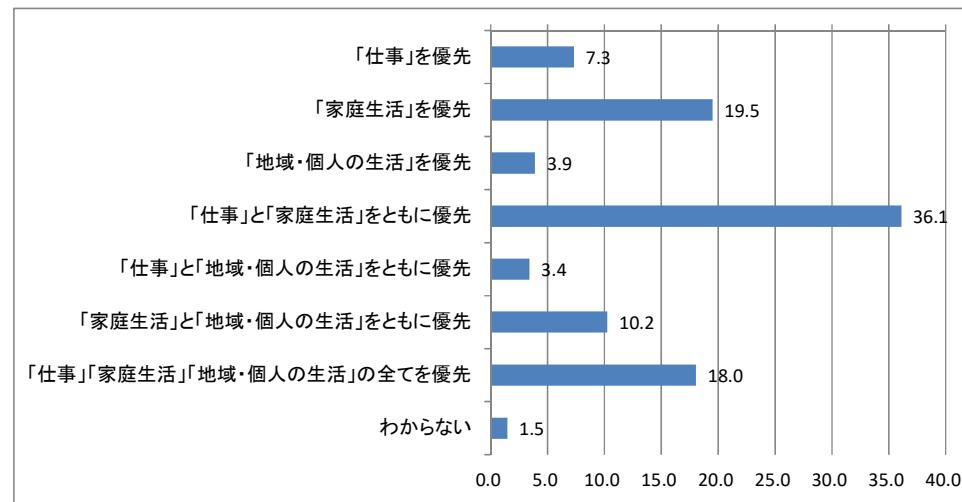


「その他」の回答

性別による賃金格差をなくす
個人のことなので、社会が決めることではない
男性が育児休暇を取得したら育児に専念すべきで単に休暇を喜ぶ男性が多すぎる。
育休中の給与を全額補填（ボーナス分も含めた）な制度の充実
安い労働力としてパート女性を利用しないこと

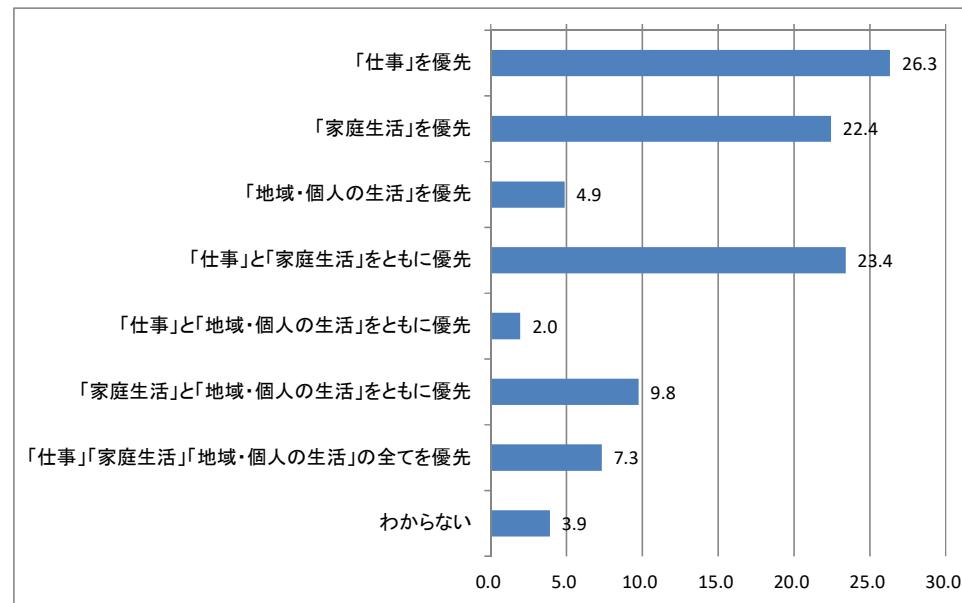
問5 生活の中での、「仕事」「家庭生活」「個人の生活（地域活動、趣味、学習等）」の優先度について、あなたの希望に近いものはどれですか。

回答	人数	%
「仕事」を優先	15	7.3
「家庭生活」を優先	40	19.5
「地域・個人の生活」を優先	8	3.9
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	74	36.1
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	7	3.4
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	21	10.2
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の全てを優先	37	18.0
わからない	3	1.5



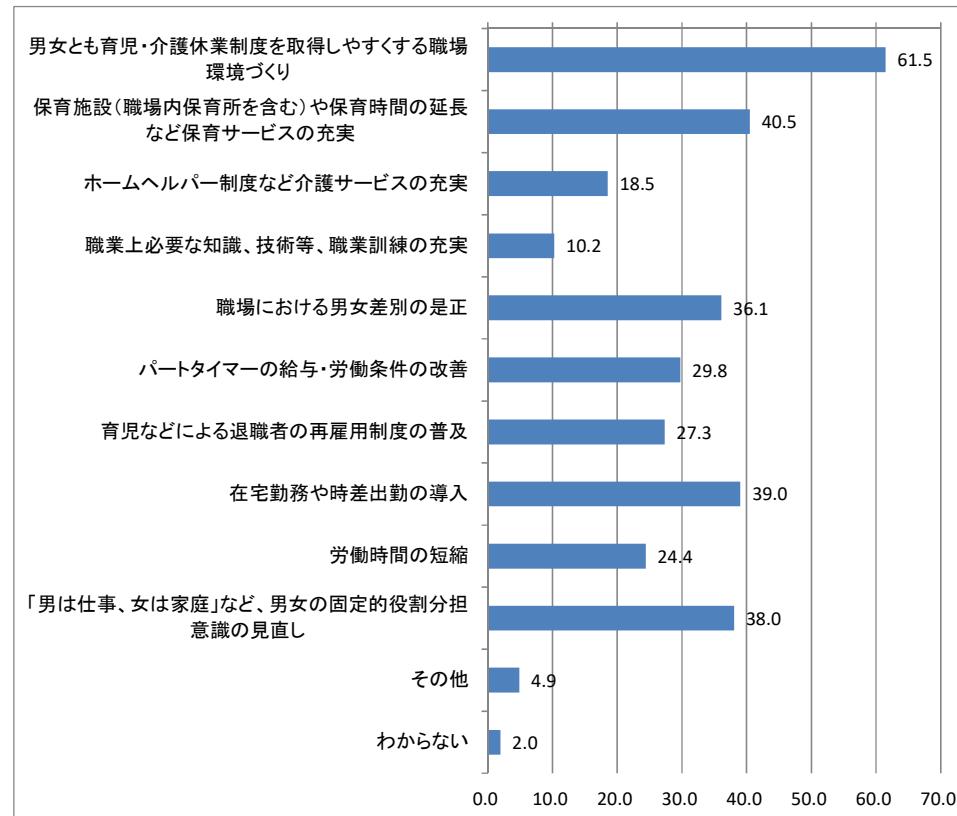
問6 あなたの現実（現状）に近いものはどれですか。

回答	人数	%
「仕事」を優先	54	26.3
「家庭生活」を優先	46	22.4
「地域・個人の生活」を優先	10	4.9
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	48	23.4
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	4	2.0
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	20	9.8
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の全てを優先	15	7.3
わからない	8	3.9



問7 男性も女性とともに仕事と家庭生活の両立をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか（複数回答可）

回答	人数	%
男女とも育児・介護休業制度を取得しやすくする職場環境づくり	126	61.5
保育施設（職場内保育所を含む）や保育時間の延長など保育サービスの充実	83	40.5
ホームヘルパー制度など介護サービスの充実	38	18.5
職業上必要な知識、技術等、職業訓練の充実	21	10.2
職場における男女差別の是正	74	36.1
パートタイマーの給与・労働条件の改善	61	29.8
育児などによる退職者の再雇用制度の普及	56	27.3
在宅勤務や時差出勤の導入	80	39.0
労働時間の短縮	50	24.4
「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的役割分担意識の見直し	78	38.0
その他	10	4.9
わからない	4	2.0



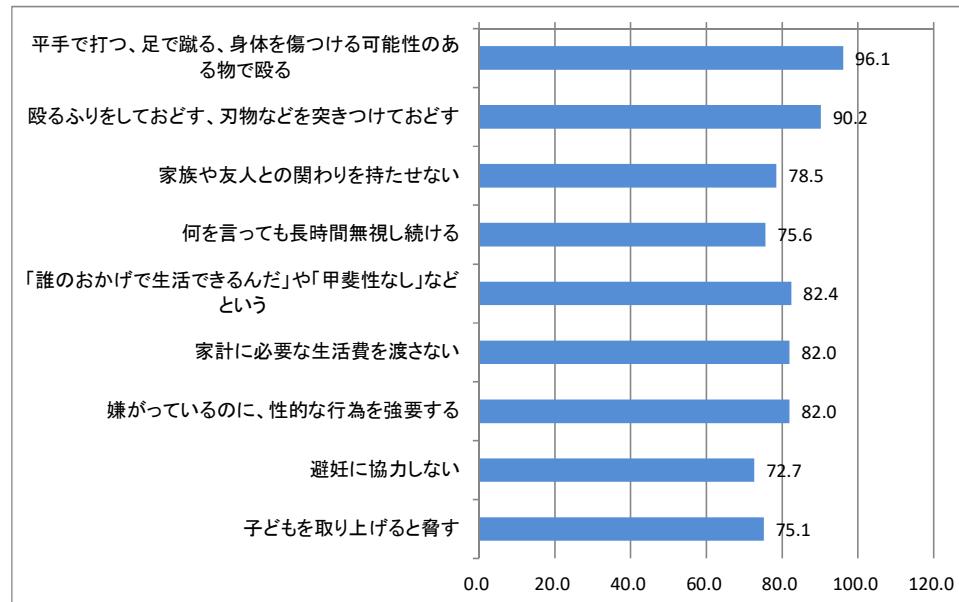
「その他」の回答

出産後の環境。
男性の育児参加への理解を高齢者に求める
話し合い
上場していない企業に強制力、罰則を設けて監視すること
あまり欲張らない事
育休中の給与を全額補填（ボーナス分も含めた）な制度の充実
能力主義の廃止
無駄の切除をし、かけるだけ子どもへ回すべき
保育士の給料増
育児・介護休業制度の利用に伴う条件不利の是正

問8 ドメスティック・バイオレンス等についてお聞きします。

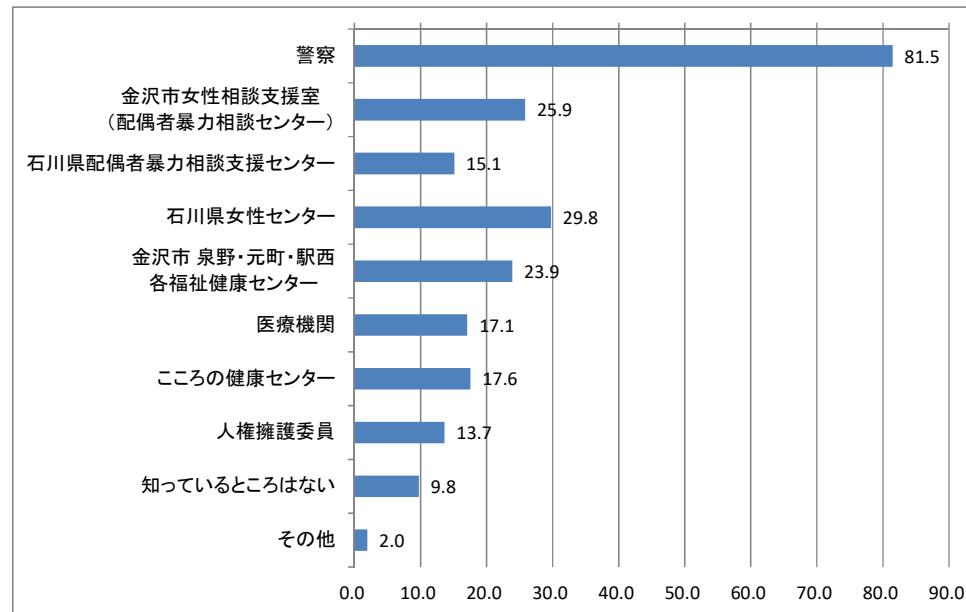
次のようなことが 配偶者や交際相手など、親密な関係にある者の間で行われた場合、暴力だと思うものはどれですか。 (複数回答可)

回答	人数	%
平手で打つ、足で蹴る、身体を傷つける可能性のある物で殴る	197	96.1
殴るふりをしておどす、刃物などを突きつけておどす	185	90.2
家族や友人との関わりを持たせない	161	78.5
何を言っても長時間無視し続ける	155	75.6
「誰のおかげで生活できるんだ」や「甲斐性なし」という	169	82.4
家計に必要な生活費を渡さない	168	82.0
嫌がっているのに、性的な行為を強要する	168	82.0
避妊に協力しない	149	72.7
子どもを取り上げると脅す	154	75.1



問9 配偶者や交際相手など、親密な関係にある人から暴力を受けたとき、相談機関で知っているものはどれですか。（複数回答可）

回答	人数	%
警察	167	81.5
金沢市女性相談支援室 (配偶者暴力相談センター)	53	25.9
石川県配偶者暴力相談支援センター	31	15.1
石川県女性センター	61	29.8
金沢市 泉野・元町・駅西 各福祉健康センター	49	23.9
医療機関	35	17.1
こころの健康センター	36	17.6
人権擁護委員	28	13.7
知っているところはない	20	9.8
その他	4	2.0



「その他」の回答

強制力がないため、相談しても意味がない。

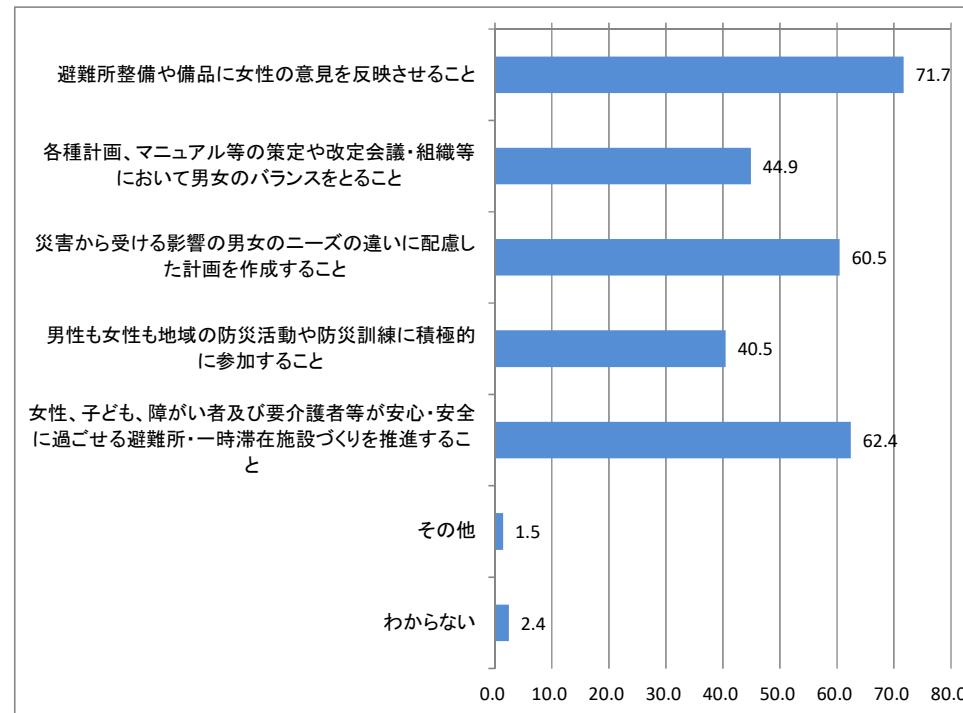
知人が警察に相談したが身内の問題で警察は何もできないとのことでした。

心療内科や精神科のカウンセラーしか無いと思っていた

職場の人

問10 防災分野における男女共同参画の推進のために、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）

回答	人数	%
避難所整備や備品に女性の意見を反映させること	147	71.7
各種計画、マニュアル等の策定や改定会議・組織等において男女のバランスをとること	92	44.9
災害から受けける影響の男女のニーズの違いに配慮した計画を作成すること	124	60.5
男性も女性も地域の防災活動や防災訓練に積極的に参加すること	83	40.5
女性、子ども、障がい者及び要介護者等が安心・安全に過ごせる避難所・一時滞在施設づくりを推進すること	128	62.4
その他	3	1.5
わからない	5	2.4



「その他」の回答

対等なら男女で差は無くても
災害活動をフォローしていたボランティア等から情報を得る
災害現場での性被害。予防とケア。

問11 金沢市の男女共同参画の取り組みについてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。（全角入力で）

石川県下各市町村、金沢市の女性議員数が少ない。
女性議員をもっと増やす??男性の意識改革に積極的に取り組み、女性管理者を増やす??
特になし
若い世代から高齢世代の方々が一緒に参加でき色々な意見や話し合いが出来る会が必要と思われます。
金沢市が男女共同参画の取り組みをしていること事態知らない。
介護が楽になるといい
男女共同参画を推進することによる弊害として、晩婚化や結婚を選択しないこと(結婚できないことも)による「少子化」があげられるが、その点はどのように折り合いをつけていくのか。メリットとデメリットを正しく見て、デメリットへの対応にまで目を向けるべきだと思う。また、若年層に関しては男女の差はほとんどないと思う。
出産、子育て、家事、会社での労働、昇進、を学生時代からのシミュレーションをするとすべては実現できない事が分かる、現実的な生活モデルを構築し、専業主婦になりたい人、バリバリ働きたい人、両立したいひと、それぞれのモデルケースを分けて考え、それに男性側がどう合わせて行けるのかを考えてはどうか。
世間で言う女性の権利が足りないというのは妄想で、現状与えられているだけの権利を全て求めて人生の時間が足りなくて利用しつぶせない。そうなると働きながら子供3人(出生率の問題もあるので3人は必要)も産んでも、管理職や経営者に皆が慣れるのかどうか(現実的に無理)。個人のモデルケース(複数)から、市民のモデルケース、そして先進国中で問題になっている出生率をどうあげていくのか、すべて満たす方法を模索するしかない。役割分担、複数モデルがカギ。
古風な男社会中心の考え方で育っており難しいテーマでした。日本の良き伝統のあり方も忘れないようにすべきだと思います。
平等の意識を常に持つこと
なぜ無理やり男女を同じように扱うのかわからない。
長時間の就活や相談などでも安心して預かって貰えるところが欲しい。現実は何時間以内など制限多いと思います。
地域的に昭和世代の価値観が良いか悪いかだけどまだかなり残ってると思う。
是非、推進していただきたいです。
完全なる男女平等は、少なくとも私はあり得ないし、人類史上そうした社会が存在した事も無いと考えている。しかし、理想を少しでも実現する為には、様々な施策が必要だと思う。
積極的に取り組んでほしい
男女共同参画は以前に比べて着実に進んでいると思います。かなざわ未来奏でプランを推進しているとのことです、プランの具体的な内容を良く知りません。
確かに男女は、平等であるのが望ましい。しかしながら、まだまだ男女格差や差別は少なからずあると思います。社会的支援もさることながら、人々の意識を変えていくことが大切ではないかと思います。折に触れて啓蒙活動を続けていく等、かなり時間が掛かると思います。
別段なし
とにかく女性をという風潮が近年あるが、適材適所、やる気のある人を男女問わず採用配置することが重要です。
まだ世の中は女性に優しくないと思います。特に災害が多かった石川県なので、避難所等、不便なことが多いと聞きます。安心して生きられる世の中になってほしいと願います。
今後引き続いでお取組頂きたいことは、以下の通りです。 ・女性のリーダーシップ育成:企業や自治体での女性リーダーの増加を目指すプログラム。 ・男性の育児休暇取得促進:男性がもっと育児に関わるような環境作り。 ・教育の重要性:ジェンダー平等についての教育を学校や地域で強化すること。
老若男女の意識改革。各年齢、男女、健常者障害者等抱える問題が違うので、いろいろな意見収集する事が大切。
なかなか男女平等と言っても実際はやはり女性が不利。仕事と家庭に追われていて自分の自由な時間が持てない。リフレッシュ出来るイベントがあればよいと思う。
特になし
特に無し
初めて金沢に来てハローワークで仕事を探しているとき、受ける前に受付でここは男人募集してるからと断られました。無駄に受けて落ちるのを止めた優しさなのでしょうが、ハローワークの人がそんな認識でいいのか?と思いました。東京でそのようなことを言われたことが無かったので大変驚きました。公的機関ですらそれなので、民間ならどれほどなんだろうと思いました。まずは市役所や警察や保健所ハローワークなどで働く人々から認識を変えていかなければ話にならないと思います。
男女共同参画と言っても現実は男性優位であると思います。少しずつですが女性も参入している変化は見えますが微々たるものだと思います。
対応する市職員を女性上位の構成にして決定権含めて実行
取り組みの計画のように実行されるとうれしいですね

どのように取り組んでいるのかわからない。
男性、女性ともに協力し出来ることに対処していきたい、その上で 男性向け、女性向けを区別せざるを得ないことがあるやに思われる所以 分担の作成を明確にしていけたら 良いと思います。
市としての取り組みを広く啓発も必要かと思います。またこの取り組みはジェンダー平等の動きとも平行しながら進めていくことを希望します。
政治の場に於いても、今までの慣習のままで男性が圧倒的に多くなり、子育てもした事のない年配の男性が机上の空論で何を決めても男女共同参画には届かないと思います。議員を男女平等の数字にしないと無理だと思います。そこからスタートだと思います。金沢市が全国に先駆けて行けば素晴らしいのになあ。と憧れている時点では、男女平等では無いという事ですね。残念ですね。
具体的な取り組みが全く見えてきません
法的にも完全なものでないというものもあるようですが、具体化していくのは、行政や社会、企業、学校などにあると思う。それだけ期待と責任も大きいと思う。男女の役割でなく、協力。具体化を進めてほしい。
遅い。所謂お役所仕事に陥っている
意見を聞くだけでなく、議論したり、決定する立場にさらに多くの女性を起用する必要があると思います。
男性の育休制度は職種によって取るハードルが高いと思う。子供が生まれた際に、会社側と相談して時短労働やフレキシブル出勤、育休など、いくつかのプランの中で選べると男女共に協力して生活しやすくなると思う。平等であることはとても大切なことであるが、決して平等が最善ではないと思うため、何事にも平等を求めるのはいかがかと思う。個々の状況に合わせた策を会社、夫婦で話し合う、コミュニケーションが取れる環境整備、機会が大切だと思う。
■例えば、福井県は共働き世帯が多い一方で、男女の固定的役割分担意識が強く、こうした意識改革に取り組んでいると聞きました。福井県等の取り組み事例を参考にしてはどうでしょうか。
女性の地域活動の活性化の施策、支援の拡充
学生生活を送るとあまり男女に差を感じることはほとんどない。問題は社会に出た時、社会人になった時の周りの上司や職場環境、職場の慣習の面にあると思う。
女性がもっと積極的に何事も前に出て貢献したい。
現在の金沢市ではどの様な取り組みをしているのかわからない。PR不足
時代と共に男女の考え方も変わっており男女行動参画の取り組みも平等になってくると思います。
特にありません
シングルマザーです。しごとは休みづらいです。子供達も大事です。自分の人生も大事です。でも、何を優先する?って言われると、自分人生や思いを犠牲にするしかないのだと思います。子供が巢立った後、やりたかったことはできるのかなと思います。身体とココロも年老いて、やりたかったことに、たどり着けないと思います。少しは女性の生き方が理解されて来ているとも思います。しかし、どこをみても、やりたいことを楽しんでいるのは男性ばかりに見受けます。女性は子育て家庭を優先せざるおえないんだと思います。それも幸せな形かもしれません。それでも、わたしはわたしの人生を有意義にしたいと、あらがっています。
まずは、お役所から育児休暇をどしどし取れる状況になるといいですね。、
施策として何をやるにしても、男女の意識次第と考えるので男女共同参画の取り組みについて普及を徹底することが肝要と思う。
趣旨と実態の乖離が大きい。推進するほど本音が隠されてしまう。
男女差別などの社会背景は理解しますが、夫婦双方で満足してそうしてきた人達もいるので、「男は仕事、女は家庭」=悪というレッテルにならないような配慮もお願いします。就業することが「生き生きと充実した生活」と感じない女性もいるし、これも多様性だと思います。
高齢になると、今の自分にどのようなことができるのだろうと、考えることが多くなりました。考えるばかりで、何もしないでいることは、心の力が弱くなってしまいますね。高齢者が役立てる場もあってほしいです。
もう少し自分が若ければもっと意識出来たけど、この年になると声を大にして言えることは無い。これまでの時代に流されて慣らされてしまったようである。
金沢市は、男女共同参画の取り組みがされていない様に感じる?
個人的には完全に平等である必要はないと考えます。男性が育児に参加してほしいというより、子供と生活する上で見守る大人の目がもっと多ければ助かるのに感じることがしばしばあります。都会ほど祖父母に頼れない家庭ばかりではないはずなので、夫婦だけの家庭内で男女平等を推進するより、祖父母を含めた家庭内で解決できるような社会的取り組みをしてほしいです。
金沢にはまだまだ男根主義・家父長制が根付いていると思います。(特に年配の世代)おそらく意識一つで変えられるものではないと思うので、女性センターやこころの健康センターなど、相談会の機会を増やしてもらったり、助けを求められる場があることをもっと知らせていく必要があると思います。そして、そういう窓口の職員を増やす必要もあるのではないかでしょうか。
女性には、女性にしか出来ない出産があります。女性が男性と同じく社会での活躍をしていくことも大切だと思いますが、女性が社会での活躍や経済的なことばかりを優先したことで少子化にどんどん拍車がかかっていってるとしたらそれはよくない傾向だと思います。金沢市だけではないですが、女性が何人も出産しやすい環境をつくり、その上で男女共同参画取り組みも考えていく必要があるのではないかと思います。
小学校育友会でも男性参加率は、ほとんどない。子供は、夫婦協力して育っていくという考えを金沢市主導で考えて欲しい。
市の取り組みはかなり前から知っていますが表面に見えないせいか良く分からない。ただ地域活動等ではまだ男性優位を感じます。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今回いただいたご意見は、当制度の次年度以降の運営の参考とさせていただきます。